

平成29年度 委員会トピックス

各常任委員会の調査事項から今後継続した検証が必要となるものを紹介します。

総務民生常任委員会

地域公共交通の集合ワゴン 高齢者の移動手段として十分か！

調査内容

地域公共交通の試乗体験

実施日 11月20日

総務民生常任委員会委員5人で実際に大和区、橋本区、みどり区、青葉区、花月区から乗り合いワゴンに乗車。予約から実際にグリーンパークまで試乗し検証しました。

検証結果

乗り合いワゴンは、砂川市への通院などに安価で利用できるため、利用者は少なくても、貴重な交通手段として喜ばれています。

一方、国道路線の運行に限られているが、あまり利用客がないことから、町道を運行したり、行政区会館前を発着所にしたりとすると、利便性が増して利用が増えるのではないかと、この提案



がありました。

また、試乗体験した日は吹雪であったため、国道まで歩き、バス停で待つことは、高齢者には大変難儀なことであるとの意見もあり、今後も、地域住民にとって益々利用しやすい運行体制はどうあるべきか、委員会で注視していきます。

経済文教常任委員会

今季から新導入 スムーズな除雪にスマートフォンが活躍！

調査内容

除排雪計画稼働体制の調査

実施日 12月1日

除雪センターにて除排雪体制について視察、検証しました。

検証結果

システムでは、データ通信専用のスマートフォンを活用し、10秒毎の除雪車の走行位置をパソコン画面上の地図に表示。そのことにより、実際の作業を行っている路線がリアルタイムに把握でき、センターからの指示が的確に行えることが分かりました。また、スマートフォンで撮影した現地の写真をパソコンに送ることもでき、現場の状況を具体的に把握することも可能。

このシステムの特徴は、データ通信



機器がスマートフォンであることから、汎用性が高く、将来的にはスクールの運行状況の把握や災害時等に離れた場所の状況確認等にも活用することができそうです。

今後も委員会としては今シーズンの運用状況を調査しながら、システム導入の効果について検証していきます。